

インターメディアエーター講座

— あいだが変わる、両側も変わる —



ビジネスを含め、およそ人間の共同社会は「関係の網の目」のなかで成立しています。ところがいま、身近な集団をはじめ、組織、地域、社会、自然など、いたるところが切れ切れになっています。善か悪かの二分法思考が、一層の亀裂を生みだしてもいます。だからこそ、「あいだ」——非連続の連続——をつくって、破壊され、毀損され、失われたリンクの数々を修復、再生、再創造するモノやヒトが必要です。こうした「あいだの知」を担う媒介役を「インターメディアエーター (intermediator)」といいます。誰かの上か前に立とうとする“強いリーダー”ばかりを探し求める人にとっては、じつに見えにくいタイプの人びとです。

危機に直面する現代社会にあって、多様なアクターが連携して、いい結果を出すことは、分野を超えたテーマになりました。この時、たがいの違いを十分に認めながら、より望ましい work teams をつくりだすのがインターメディアエーターです。ビジネスの「第3カーブ」論を中心に、様々な需要をかたちにし、複合する諸問題を解決し、やがて分散型の新しい社会を生みだす役割です。「人間と機械と自然の協働」、そして「より大きなシステムとの調和」を目指すことになります。新たな展開を担う方々にお越しいただきたいと思っています。

「強いリーダー待望論」を超えて。

プログラム	イントロダクション 13:30 ~ 15:30、前後半 10:00 ~ 17:00 (ランチをはさみます)
§ 0	イントロダクション (ビジネスの第3カーブ)
§ 1	「インターメディアエーター」とは
§ 2	マインドセット (1) 3分法思考と多元的思考
§ 3	マインドセット (2) 多様性・複雑性許容と対話能力
§ 4	マインドセット (3) エンゲイジメント能力と4つの 'active'
§ 5	マインドセット (4) エンパシー能力とエンパワリング能力
§ 6	マインドセット (5) 物語り能力 (narrative competence)
	5/28 Fri. (前半) 6/11 Fri. (後半) 6/25 Fri.

● 講師

設楽 剛 (Tsuyoshi Shidara, Ph.D.)

SHIDARA & ARCHIPELAGOs 代表

慶應義塾大学SFC 博士 [政策・メディア]

● 慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科修了後、シンクタンクにて、ブランド・マーケティング、およびビジネス・フィロソフィーの変革を推進。LINE (株)の母体企業ハンゲームジャパン(株)の創設メンバー、初代チーフ・マーケティング・オフィサー (CMO) 兼 副社長を経て、設楽剛事務所を設立。革新型経営者のアドバイザー。今後の大きな方向と展望をイメージできるよう、新たなビジネス・パラダイム (ビジネスの観方・考え方) の導入・形成に取り組んでいる。Worldmaking, Intermediator, Narrative を重視。

● 論文 (査読付) に、「物語ブランディングの政策効果」(政策情報学会)、「ブランディングにおける物語効果」(情報文化学会)。

● 公式サイト : archipelagos.jp



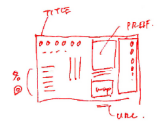
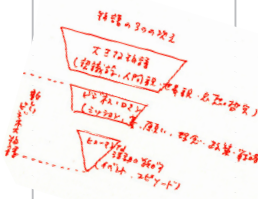
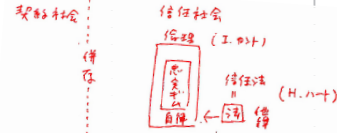
会場 公益財団法人 国際文化会館

100-0032 東京都港区六本木 5-11-16

電話 : 03-3470-4611 URL : i-house.or.jp

● 申込み : ウェブよりお申し込みください。

archipelagos.jp/intermediator2021.html



もはや革新の物語を語るだけでは、不十分です。
あらゆる物語の革新を、物語をもって革新を。